

ASEAN 大使通信 第 15 回 総括から実施へ

2024 年（令和 6 年）2 月 29 日



日 ASEAN 友好協力 50 周年総括シンポジウム（2024 年 2 月 21 日）

ジャカルタでは 2 月に入り、幅広い分野で活動が本格化しています。私も ERIA 加盟国・対話国会議を皮切りに、毎週様々な会議や行事に出席しました。特に、今月は日 ASEAN 友好協力 50 周年総括シンポジウムと天皇誕生日レセプションを開催し、多くの方々に出席いただいたことが大きな成果だったと思います。

当地のみならず ASEAN 各国や日本でも、今月は日 ASEAN 間で様々な協議や交流事業が行われました。私自身、2 月末に用務帰国し、昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年のフォローアップとして関係省庁や有識者と意見交換を行うとともに、アジア大洋州大使会議に出席する機会をいただきました。

今回の ASEAN 大使通信では、日 ASEAN 友好協力 50 周年を振り返って総括し、実施を推進する現段階での課題や具体的な取組を皆さんにご紹介しながら、今後の日 ASEAN 協力のあり方について一緒に考えていきたいと思います。



ERIA 加盟国・対話国大使会議（2024 年 2 月 6 日）

●ERIA との連携強化

2 月 6 日、[ERIA 加盟国・対話国大使会議](#)が開催されました。冒頭に、今回の[理事会](#)でラモン・ロペス前フィリピン貿易産業大臣が新議長に選出されたとの報告がありました。引き続き ERIA 側から、昨年のインドネシア議長国下での諸活動と日 ASEAN 友好協力 50 周年への貢献、本年のラオス議長国下での活動予定についてプレゼンが行われ、それを踏まえて意見交換が行われました。

私からは、昨年の 8 月の ERIA デジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター（E-DISC）の立ち上げや 12 月の日 ASEAN 特別首脳会議での各種発表を踏まえ、ERIA と以下の 5 分野で連携を積極的に進めたいと表明しました。

- （１）アジアゼロエミッション共同体（AZEC）推進のプラットフォーム形成
- （２）自動車などの産業の脱炭素化
- （３）デジタル経済とスタートアップ・エコシステムの推進
- （４）産官学の連携による人材育成
- （５）保健・環境分野での課題対処への貢献

そして、ERIA が地域の経済社会課題解決のために、官民による共創のプラットフォームとして機能を強化することに対する期待を伝えました。



「JENESYS 日本・ASEAN スポーツ（ラグビー）× SDGs 交流」

2024 年 2 月 21 日

●日 ASEAN 間の会議や交流

1 月末から 2 月にかけて、日 ASEAN 間で様々な会議や交流が行われました。1 月 30 日には東京で、[日 ASEAN 防衛当局次官級会合](#)が開催されました。今回が 13 回目になります。昨年 11 月の日 ASEAN 防衛担当大臣会合で日本が提示した「防衛協力強化のための日 ASEAN 大臣イニシアティブ（JASMINE）」について次官級で改めて説明・確認し、新たな取組の実施に向けた議論を行いました。

2 月 2 日にはシンガポールで[日 ASEAN デジタル大臣会合](#)が開催され、日本からは[渡辺孝一総務副大臣が出席](#)しました。今回、AI ガバナンスやサイバーセキュリティなどが盛り込まれた日 ASEAN デジタルワークプラン 2024 が提案・承認されました。3 日には河野太郎デジタル担当大臣が[「アジアにおけるデータガバナンス等に係る閣僚級会合」](#)を主催し、シンガポールのテオ情報通信大臣との共同議長の下で、日本とアジア諸国の協力推進をテーマに議論を深めました。

2 月 19 日から 26 日まで、[「日本 ASEAN スポーツ交流（ラグビー）×SDGs 交流」](#)が行われました。ASEAN 加盟 10 か国及び東ティモールから、ラグビーに関心のある大学生等約 80 名が来日し、東京都、福岡県、埼玉県を訪問しました。初日の 19 日には、[高村外務大臣政務官への表敬](#)も行われ、ASEAN 議長国のラオスの参加者からは、ASEAN 各国の仲間とともに、日本のラグビーとスポーツを通じた SDGs への取組みを体験することへの期待が述べられました。このように、本年の交流事業も既に動き出しています。



日 ASEAN 友好協力 50 周年総括シンポジウム（2024 年 2 月 21 日）

●総括シンポジウム

2 月 21 日には、[日 ASEAN 友好協力 50 周年総括シンポジウム「信頼で共創する未来」](#)が ERIA のデジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター（E-DISC）で開催されました。これは、昨年の日 ASEAN 友好協力 50 周年の成果を確認するとともに将来の方向性を議論するために、当代表部とタイ ASEAN 常駐代表部、当地のシンクタンク FPCI が共催したもので、会場で約 80 名、[ライブ配信](#)で約 200 名が参加しました。

開会挨拶後、日 ASEAN50 周年特別首脳会議をはじめ一連の記念行事のハイライトを取りまとめた[動画](#)が上映されました。引き続き、第 1 部は経済社会課題、第 2 部は ASEAN 中心の地域枠組みをテーマに、渡辺哲也 ERIA 事務総長、ハッサン元インドネシア外相の基調講演とパネルディスカッションが行われました。

私からは[閉会挨拶](#)で、「信頼」に基づく「共創」を通じて地域や世界の平和、安定及び繁栄を促進するために、このシンポジウムを新しい出発点として、日 ASEAN 関係を一層発展させていく決意を述べました。



天皇誕生日レセプション（2024 年 2 月 21 日）

●天皇誕生日レセプション

2 月 21 日の総括シンポジウムの後に、ジャカルタ市内のホテルで大使館と ASEAN 代表部の共催で[天皇誕生日レセプション](#)が開催されました。

日本にゆかりのあるインドネシアや ASEAN の関係者約 1000 名以上の参加を得ての年間最大行事ということで、日本の食事や飲み物を楽しみながら交流を深めていただきました。会場では幅広い分野の日本企業による展示・紹介も行われました。

私からは乾杯の発声で、昨年の日 ASEAN50 周年特別首脳会議には共同議長のジョコ大統領の出席も得て、「信頼のパートナー」として共同ビジョン・ステートメントと実施計画が採択されたこと、日本とインドネシア、ASEAN の明るい未来、地域と世界の平和と繁栄に向けて協力していきたいと述べました。

今回の総括シンポジウムと天皇誕生日レセプションで、昨年以来お世話になっている多くの方々に直接お礼を申し上げることができ、嬉しく思っています。



日 ASEAN 関係有識者との夕食会（2024 年 2 月 26 日）

●総括から実施へ

2 月 26 日からは、アジア大洋州大使会議に出席するために一時帰国しています。初日には、[日 ASEAN50 周年有識者会議](#)の委員をはじめとする有識者の先生方から、昨年の一連の行事と成果に対する評価や今後の実施に向けての課題についてお話を伺いました。提言の主要部分が共同ビジョン・ステートメントや実施計画に反映された一方、今後の具体化の中で実現すべき点についても数多くご指摘いただきました。私からは、これからも是非一緒に取り組んでいきたい旨お伝えしました。

その他、次世代共創パートナーシップ（文化の WA2.0）、国際共同研究ネットワーク強化、次世代産業共創、AZEC など、主要な新イニシアティブを担当する関係省庁・機関を訪問して、今後の実施に向けての打ち合わせを行い、「法の支配」を推進する日 ASEAN 協力についての[講演](#)も行いました。

今月の一連の行事や協議を通じて、日 ASEAN50 周年が総括から実施の段階に入ったことを実感しました。今月お会いした皆様やこの ASEAN 通信の読者の皆様と、日 ASEAN の新たな時代を共に創っていければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦